



関中央ロータリークラブ

2018-2019 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2
 事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
 会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018~2019年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「自ら行動するロータリーへ！」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1947回例会 2018年8月2日(木)
 「C. A 新年度活動方針」 / 担当 会長・幹事

前例会の記録 第1946回 2018年7月26日(木)
 C. A 新年度活動方針 / 担当 会長・幹事

- *ロータリーソング「それでこそロータリー」 斉唱
- *お客様の紹介 新入会員候補 森 敬様
- *会長あいさつ 波多野篤志会長

今日は、前回の例会から2週間有りましたのでその間の事業について報告したいと思います。



先週の18日にIGMを行いました。今年度のIGMでの議題としまして、次のことを上げさせていただきました。皆さんのロータリーライフが充実し、会員増強を進めていくために次のことを教えてください。3点あげました。

1. 皆さんのロータリーの魅力は何ですか？
 2. 今までにどんなボランティアが有りましたか？
 3. どのボランティアに興味があり進めたいですか？
- です。当日の内容の報告は、レポーターの石原さんからさせていただきますので、割愛しますが、今回は

上之保の会員の方が多く参加していただいたので、先日起きた災害等のお話とロータリーのかかわり方などを聞くことができ、貴重な会となりました。また、今回の全国的災害について台湾の南隆ロータリークラブの会長からお見舞いのメールをいただいておりますので、ここで報告します。

関中央ロータリークラブ 会長 波多野篤志 様 急啓 この度は、テレビの速報で関西地方は集中豪雨を受け、死傷者が多数で出て、大きな被害を与えたということを感じました。そちらはいかがでしょう。みんな心配しております。何かできることがあれば、どうぞ遠慮なくおっしゃってください、1日も早く落ち着くようお祈りしております。取り急ぎまして、お見舞い申し上げます。 敬具 台北南隆扶輪社 頼安國社長 2018年07月13日

21日(土)に岐阜グランドホテルにてロータリー財団の研修セミナーが開催されましたので、西田ロータリー財団委員長と参加してきました。今年は、ポリオプラスについてのお話を主体に開かれました。基調講演は、元ユニセフ (UNICEF:国連児童基金)

西・中央アフリカ地域事務所 ポリオ予防接種、モニタリング・評価担当 國枝美佳様「ポリオのない世界を目指して」のお話をされました。その中で、特に衝撃的な内容は、ポリオ（日本では小児麻痺、1980年に終局）は一度かかったら治らないということと無くなるまで予防し続けなければならないことです。なかなか地方の部落では受け入れられなくて苦労したそうです。ロータリーのプログラムの中で第一の優先事項はポリオ撲滅です。このプロジェクトの展開によりポリオ発症率数は残り 1%というところまで来ています。ポリオに対して少しでも理解を深めていただけるとありがたいです。

続きましてロータリー財団部門委員会 各小委員会による説明をされました。

1. 資金推進小委員会

2. ポリオ・プラス小委員会 ポリオプラスとは、ポリオ撲滅運動の中で健康診断をしたときにその他の病気に対しても対応していこうという試みです。

3. 資金管理小委員会

4. 補助金小委員会です。補助金の中には次の 4 つがあります。

- 1. 地区補助金 2. グローバル補助金
- 3. 奨学金・学友 4. VTT

今回初めて聞くのが VTT という補助金です。

これは、職業研修チームを派遣するという事です。専門職業人のグループが海外に赴き、スキルや知識を学んだり、現地の専門職業人にスキルや知識を提供するものです。地域社会の人々が自力で問題解決し、生活改善する力を身に付けることが出来るようにする。地区補助金利用とグローバル補助金を利用する場合の 2 通りの方法があります。これからも、クラブ運営に補助金を有効に利用していきたいと思っておりますので、皆さんも機会のあるごとに勉強していただきたいと思っております。

* C. A 新年度活動方針

・会場監督 石原妙生委員長

木村ガバナーは「例会」は奉仕の理念を学ぶ場であり、職業人としての倫理を高め、互いに切磋琢磨し学ぶ場で、まさに「人生の道場」であ



ると言われ、例会の重要性を訴えています。

【基本方針】例会の進行をスムーズに行い、ロータリーの品格あるものになる様務める。

【事業計画】

1. 会長・幹事及び例会担当委員長と打合せの上、円滑な運営をする。
 2. 例会食の無駄をなくす。
 3. 例会中の私語を無くす。
 4. 例会場の座席は会員同士がコミュニケーションを取りやすい様工夫をする。
 5. 来賓、来訪者に対し、歓迎と感謝に配慮する。
- 以上のようにしまりある例会にしたいので、会員の皆様のご協力をお願いします。

・ロータリー情報 佐藤忍委員長

【基本方針】全会員に対し、ロータリーについての知識の提供と普及に努め、理解を促すとともに、新会員に対してロータリーの正しい理解と会員の責務の重要性を説明する。



【事業計画】

1. 入会候補者には、入会前にオリエンテーションを行い、ロータリーの意義、クラブの組織、運営等基礎的情報を提供し理解を促す。
2. クラブ内規の定めにより、I GMを年次運営計画表により年 4 回開催し、会員相互の友情を深めると共にロータリー情報の広報と理解に資することとする。尚、計画表に定めた I GMに都合により出席出来ない場合は、適宜変更を申し出て、都合のよい開催月に参加を認めることとする。
3. I・G・M年次計画表の通り
I GMは 7～10 月の 4 回開催となっておりますので世話係の方は計画頂きますようお願いいたします。

・クラブ会報 塚原康寿委員長

【基本方針】毎週会報を作成し、会員にメールで送信する。例会に出席出来なかった会員にも例会の内容が分かるように、出席した会員には内容の再確認ができるものとし、情報を共有することによって会員相互の親睦が深められるものとする。



【事業計画】

1. 分かりやすい会報の作成に努める。
2. 例会の雰囲気がわかるような写真を挿入する。
3. 他の会報、情報誌などを参考に、より良い会報の構成を検討する。
4. 例会の内容報告以外の、ロータリーにふさわしい内容も盛り込む。

会報用の写真の撮影にご協力頂きますようお願いいたします。

・親睦活動 高井良祐委員長

【基本方針】 会員及び会員家族の親睦と友情を深めるため、楽しい例会の運営に努めるとともに、親睦交流事業に多くの皆様に参加していただけるよう企画・推進いたします。



【事業計画】 会員相互の親睦と友情を深めるため、例会場でのお世話をする。

- ・年間事業計画
- ・通常総会懇親会
- ・年次総会懇親会
- ・クリスマス・結婚記念例会
- ・新春例会
- ・クラブ創立記念例会
- ・親睦家族旅行
- ・夫人誕生日のお祝い
- ・同好会の活動サポート（ゴルフ、酒づくり他）

本年度は波多野会長の「自ら行動するロータリーへ！」というテーマがあります。このテーマを親睦委員会がサポートして参加者が和気あいあいとした楽しい雰囲気の例会を作らなければいけないと思っております。今年度は親睦旅行として夫婦同伴での台湾親睦旅行も企画しております。奥様の理解を得て頂いて、奥様同士も仲良くなって頂ければと思っております。ゴルフなどもどんどんやっていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

・インターアクト 加納淳至委員長

【基本方針】 関商工インターアクトクラブを支援し、積極的に地域社会への奉仕や、国際親善活動へ参加出来る様に協力する。



【事業計画】 関商工インターアクトクラブの活動を支援する。

- ・里山、森林整備
- ・IAC地区年次大会
- ・岐阜県 中・東濃地区IAC協議会

- ・長良川水系の水質調査と清掃
- ・顧問教師部会
- ・台湾景文高校との交流

私はまだ入って間もないこともあり、IAについても分かっておりません。皆さまにご指導頂き進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

・米山記念奨学 波多野源司委員長

【基本方針】 米山奨学事業を理解し、奨学金制度へ積極的に協力と支援をする。



【事業計画】

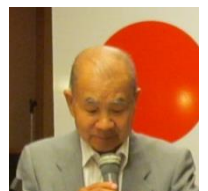
1. 派遣学生については、まずクラブ会員の子弟に理解を求め、一人でも多く海外に派遣できるよう努める。
 2. 受入学生を支援し、交流を深める。
 3. 米山奨学制度のPRに努め、寄付金協力を求める。
- 1年間一生懸命頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

この場をかりて一言お礼を申し上げます。先般の豪雨災害におきましては、社会福祉協議会を通じて多くのボランティア活動にご参加頂きました。本当にありがとうございました。まだまだ半ばではございますが、皆様方から頂いたこの恩をもっと素晴らしい上之保として復興して世の中に貢献できる地域を目指して地域が頑張っております。より一層のご指導とご協力を賜りたいと思っております。

上之保は650戸ほどの地区ですが、295戸が床上、床下浸水の被害を受けました。まだまだ2階での生活が余儀なくされているご家庭もたくさんあります。明後日からの台風も心配されますが、皆様の激励を受けながら一生懸命頑張っていきたいと思っております。

・国際青少年交換 小澤重忠委員長

【基本方針】 青少年交換事業は、多感な思春期の高校生を派遣、受け入れる重要な責務を負い、国際ロータリーの目的である国際社会に通じる新世代を育てる事業を実施していますが、この大きな目標を会員の理解と協力で育ててゆきたい。



【事業計画】

1. 派遣学生は、選考は先ず会員の子弟を、次に市内3高校に、中でも関商工IACで活動の学生に希望者

を募る。

2. 受入学生には、クラブ及び学校行事に積極的に参加させ、クラブの例会に出席させ、月1回程スピーチを願い、日本語の上達に努力していただく。

3. クラブのメンバーには、この事業について積極的に関わりを持ってもらいホストの経験と協力をお願いします。

会員皆さんに「2019～2020年 下記派遣学生募集のお知らせ」をFAXで送らせて頂きました。ぜひお申込みをお願い致します。

*7月IGM報告

レポーター 石原妙生君

7月18日、昼間気温40℃超えの大変暑い日に「まごろく」さんにて行われました。



カウンセラーの波多野篤志会長より「皆さんのロータリーライフが充実し、会員増強を進めていくために」を基に、3つの問い掛けが有りました。

1. ロータリーの魅力は何か？
2. 今までに経験したボランティアはどんなのか？
3. どんなボランティアに興味があるか？

以上のことで話し合いを行う事になりました。早速、話し合いをとおきたいところでしたが、昼間のあまりの暑さのせいで、皆さんは先に「カンパイ」をしたいと思いますということで、お酒を入れながらの進行となりました。

先日の津保川の災害直後という時期でもあり、タイムリーな話題で当日参加された会員さんに上之保地区の状況を生の声で聞くことが出来ました。その中で、災害とボランティアでロータリーに出来ることの話となり、クラブとしては阪神淡路や東日本大震災に義援金を出している。個々には被災地へボランティアとして仲間と参加したとか、今回では上之保地区へ吉田会員が子供さんを連れて参加されました。そうしたボランティアの方々には、涙が出るくらい感謝していると被災された皆さんや地区の方が言っておられました。又、各種団体ではそれぞれの分野での協力をしているそうで、これも立派な職業奉仕で有ります。今後については、いろいろな形の協力が有ると思うので、それぞれの職業を活かした

活動が有効的と思われます。最後に出席者を報告します。カウンセラー：波多野会長、R情報：佐藤さん、出席者：広瀬さん、前田さん、波多野源司さん、藤村さん、土屋さんの方々と石原でした。

*出席委員会

会員数32名、本日の出席24名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

C. A各委員長 新年度活動方針の発表よろしくお願ひします。

・大藪太君

水害へのお見舞ありがとうございました。

・小澤重忠君

C. Aの報告皆さんご苦労さまです。

23名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第1948回 2018年8月7日(火)

「ひとり親家庭の子ども学習支援プロジェクト」

集合場所：関シティーターミナル(関市文化会館側)

集合時間：午前8時20分 担当：社会奉仕委員会